

Ⅱ 調査結果の概要

1. 観光入込客延べ数

令和6年の島根県の観光入込客延べ数は29,860千人であり、前年と比べると、333千人減少（-1.1%）した。

〈観光入込客延べ数〉

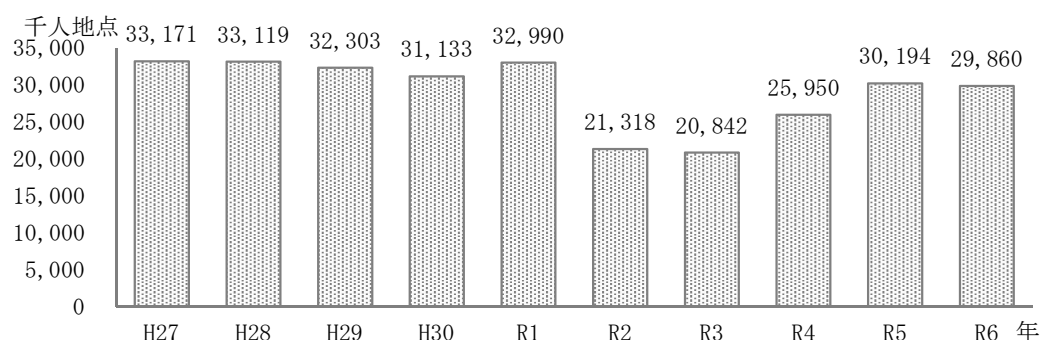
区 分	総 数	内 訳	
		県内客	県外客
観光入込客延べ数（千人地点）	29,860	6,875	22,985
構 成 比	100.0%	23.03%	76.97%
対 前 年 増 減	-1.1%	-3.3%	-0.4%

注）県内客・県外客の別は、観光入込客延べ数に観光地点アンケート調査で得られた県内客・県外客の割合を乗じて算出した。

【主な変動要因】

- ①新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴う、回復基調が一巡した
- ②全国旅行支援「しまね旅キャンペーン」終了に伴い、観光需要が落ち着いた

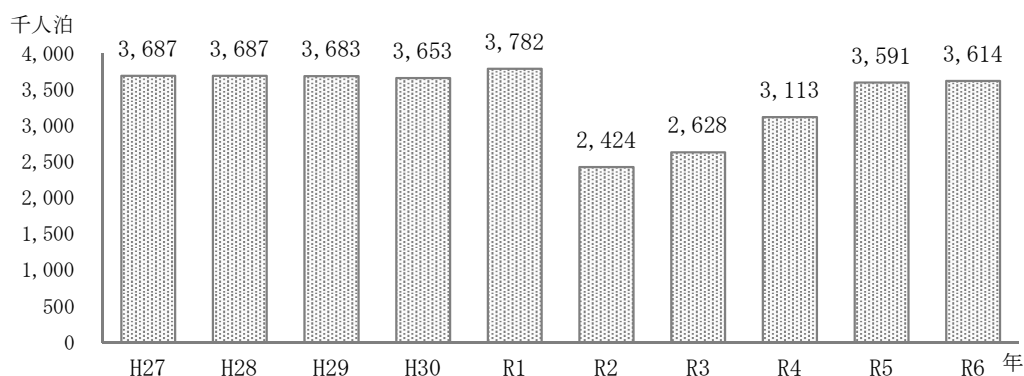
〈観光入込客延べ数の推移〉



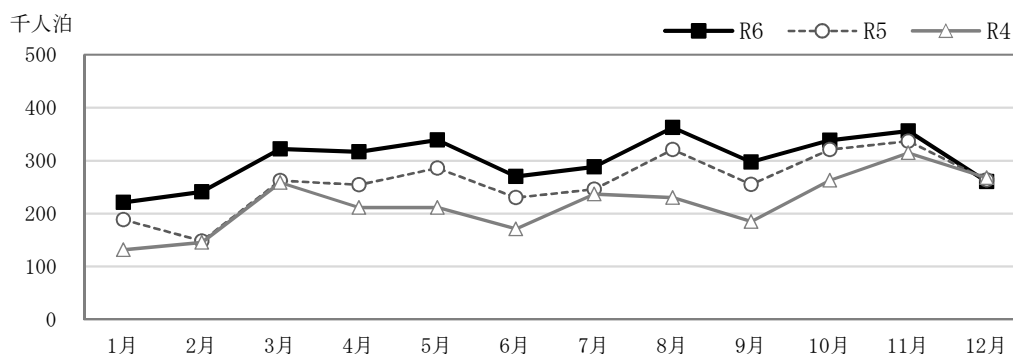
2. 宿泊客延べ数

令和6年の県内宿泊施設の宿泊客延べ数は、3,614千人泊であり、前年と比べると、22千人泊増加（+0.6%）した。

〈宿泊客延べ数の推移〉



〈月別宿泊客延べ数の推移〉



〈施設分類別宿泊客延べ数〉

区 分	ホテル 旅 館	民 宿 ペンション	社会教育 施設	公共の 宿泊施設	キャンプ 場	合 計
宿泊施設数	246	140	34	56	60	536
宿泊客延べ数 (人泊)	3,241,441	112,312	34,477	137,235	88,503	3,613,968
構 成 比	89.7%	3.1%	1.0%	3.8%	2.4%	100.0%
対 前 年 増 減	+0.5%	+20.2%	+3.1%	-0.3%	-14.2%	+0.6%

3. 観光入込客実人数

観光入込客延べ数をもとに、観光地点アンケート調査等で得られた数値により推計した観光入込客実人数は、12,451千人であり、前年と比べると、142千人減少（-1.1%）した。

〈観光入込客実人数〉

区 分	総 数	宿 泊 客		日 帰 り 客	
		県内客	県外客	県内客	県外客
観光入込客実人数(千人回)	12,451	218	2,147	4,823	5,262
構 成 比	100.0%	1.8%	17.2%	38.7%	42.3%
対 前 年 増 減	-1.1%	+3.8%	-2.0%	+0.5%	-2.4%

4. 観光消費額及び経済波及効果

観光地点アンケート調査で得られた観光消費額単価に、観光入込客実人数を乗じて推計した令和6年の全県の観光消費額は、約1,243億円であり、前年と比べると、約100億円増加（+8.7%）した。

この観光消費額が県内に及ぼす経済波及効果（直接効果、一次波及効果、二次波及効果の和）は、1.28倍の約1,597億円と推計され、前年と比べると、約143億円増加（+9.9%）した。

注）経済波及効果は、平成27年島根県産業連関表を用いて推計した。

〈1人当たり消費額〉

区 分	観光消費額単価		観光消費額 (百万円)
	(円)	対前年増減	
県内客・宿泊	16,566	-30.5%	3,620
県外客・宿泊	35,047	+15.9%	75,244
県内客・日帰り	3,086	-0.2%	14,884
県外客・日帰り	5,808	+10.9%	30,562
計	—	—	124,310

5. 外国人宿泊客延べ数

令和6年の島根県の外国人宿泊客延べ数は、87,160人泊であり、前年と比べると、約27,839人泊増加（+46.9%）した。

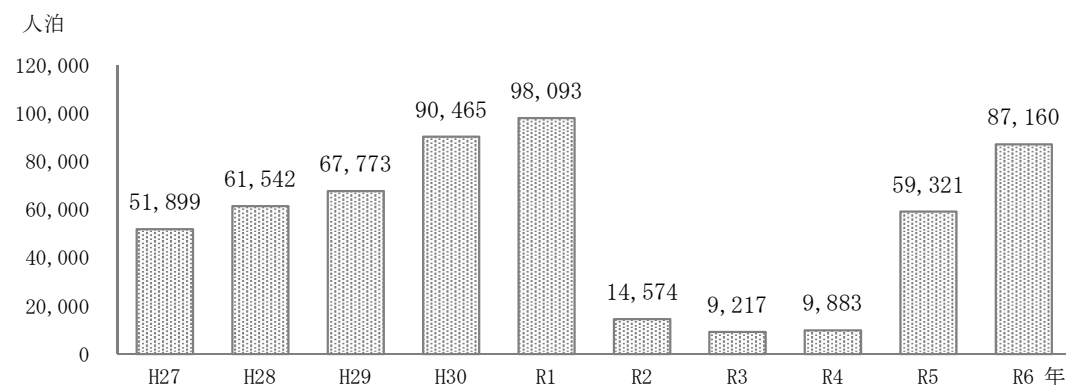
国・地域別では、台湾からが最も多く17,569人泊（構成比20.2%）、次いで中国11,817人泊（同13.6%）、韓国11,446人泊（同13.1%）であった。

〈外国人宿泊客延べ数〉

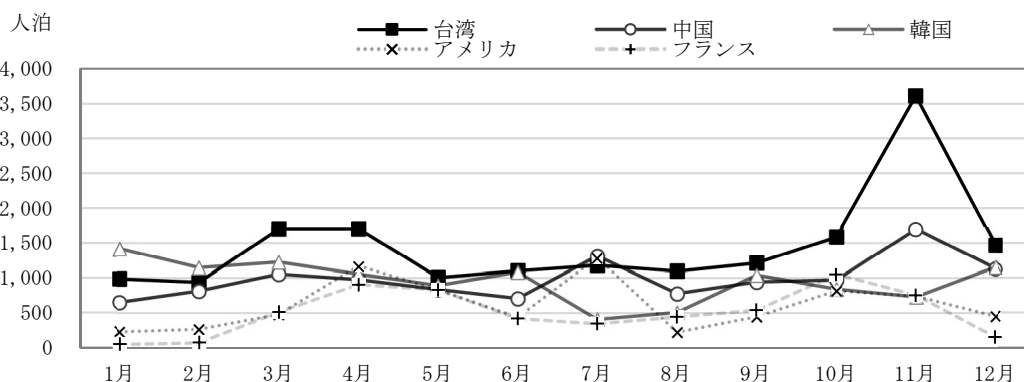
国・地域	宿泊客延べ数		対前年 増減
	人泊	構成比	
台湾	17,569	20.2%	+30.8%
中国	11,817	13.6%	+53.3%
韓国	11,446	13.1%	+100.4%
アメリカ	7,361	8.4%	+32.2%
フランス	6,063	7.0%	+38.6%
香港	4,869	5.6%	-0.3%
オーストラリア	2,061	2.4%	+31.0%
タイ	1,983	2.3%	+119.1%
ベトナム	1,650	1.9%	+7.6%
ドイツ	1,533	1.8%	+65.0%
イギリス	1,285	1.5%	-4.2%
シンガポール	1,256	1.4%	-5.9%

国・地域	宿泊客延べ数		対前年 増減
	人泊	構成比	
カナダ	1,005	1.2%	+39.8%
インド	914	1.0%	-31.2%
インドネシア	797	0.9%	+3.8%
フィリピン	415	0.5%	-19.7%
マレーシア	324	0.4%	-17.1%
ロシア	182	0.2%	+83.8%
その他ヨーロッパ	3,343	3.8%	+40.4%
その他アジア	1,457	1.7%	+71.6%
中南米	673	0.8%	+142.1%
その他オセアニア	381	0.4%	+62.1%
アフリカ	106	0.1%	+92.7%
その他	8,670	9.9%	+260.5%
合計	87,160	100.0%	+46.9%

〈外国人宿泊客延べ数の推移〉



〈月別外国人宿泊客延べ数（上位5カ国）の推移〉



6. 観光入込客延べ数の分析

(1) 主要観光地観光入込客延べ数

市町村及び観光地・観光施設ごとの観光入込客延べ数の上位10箇所は以下のとおりであった。

〈市町村〉

市町村名	入込客延べ数 (人地点)	対前年 増減
出雲市	11,718,457	−3.1%
松江市	8,734,817	+1.9%
浜田市	1,503,121	−2.5%
大田市	1,310,518	−2.7%
安来市	1,295,352	+14.2%
津和野町	1,111,534	+2.1%
雲南市	1,065,260	−0.7%
益田市	791,549	−5.6%
奥出雲町	763,902	−17.7%
飯南町	388,594	+3.0%

〈観光地・観光施設〉

観光地・観光施設名	入込客延べ数 (人地点)	対前年 増減
出雲大社（出雲市）	6,982,000	−1.9%
美保関（松江市）	1,182,163	+10.2%
日御碕（出雲市）	864,940	−18.1%
松江水郷祭（松江市）	680,000	+4.6%
三瓶山（大田市）	656,100	−3.1%
太鼓谷稲成神社（津和野町）	569,288	+4.6%
足立美術館（安来市）	546,583	+17.6%
石見海浜公園（浜田市）	539,260	+4.4%
玉造温泉（松江市）	504,502	+2.0%
松江城山公園（松江市）	452,304	+7.7%

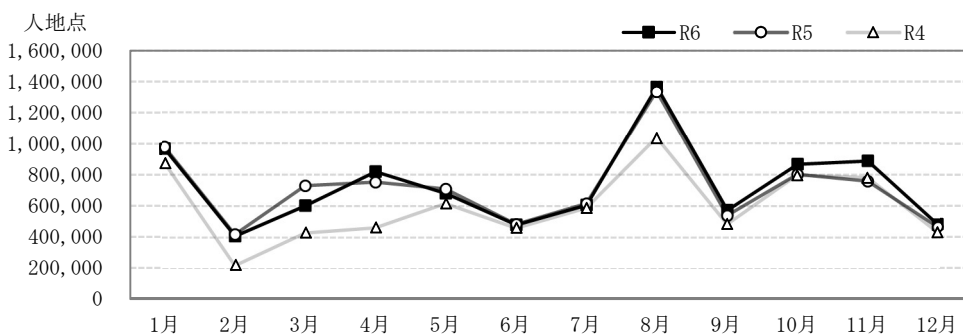
(2) 地域別観光入込客延べ数

地域別に観光入込客延べ数を比べると、出雲地域が最も多く、11,718千人（−3.1%）次いで松江地域 8,735 千人（+1.9%）、雲南地域 2,218 千人（−6.7%）、益田地域 2,128 千人（−1.6%）、浜田地域 1,841 千人（−1.5%）、大田地域 1,727 千人（−3.7%）、安来地域 1,295 千人（+14.2%）、隠岐地域 198 千人（−1.3%）の順となった。

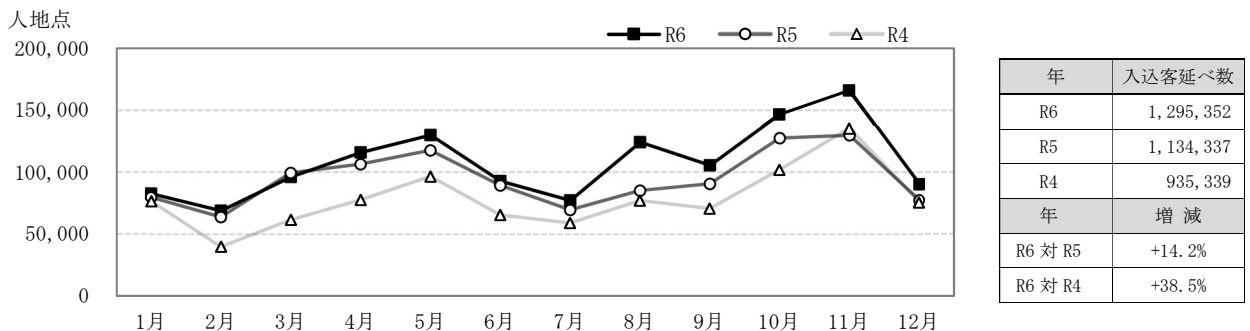
前年と比較して、松江地域及び安来地域において観光入込客延べ数は増加した。

〈地域別月別観光入込客延べ数の推移〉

松江地域

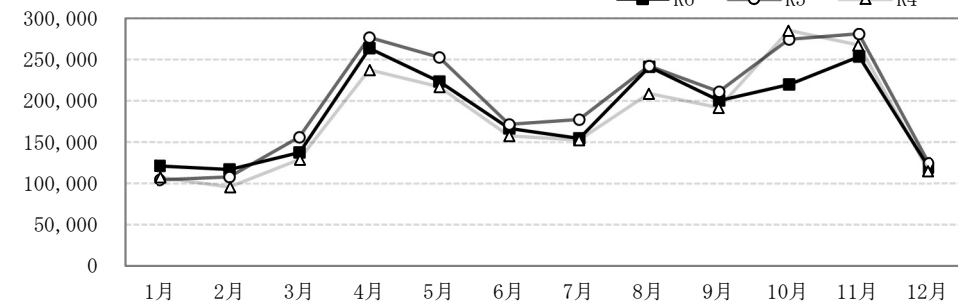


安来地域



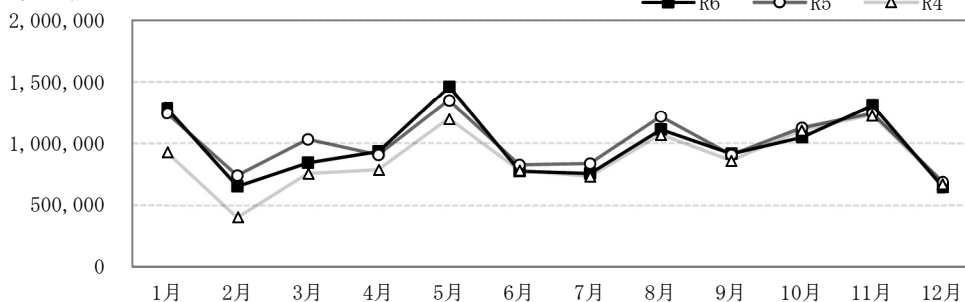
雲南地域

人地点



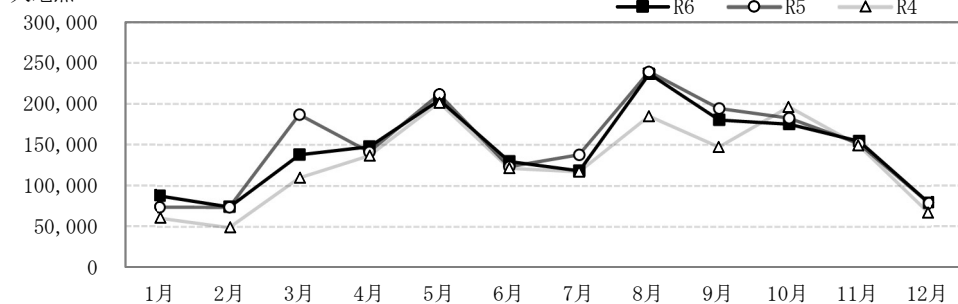
出雲地域

人地点



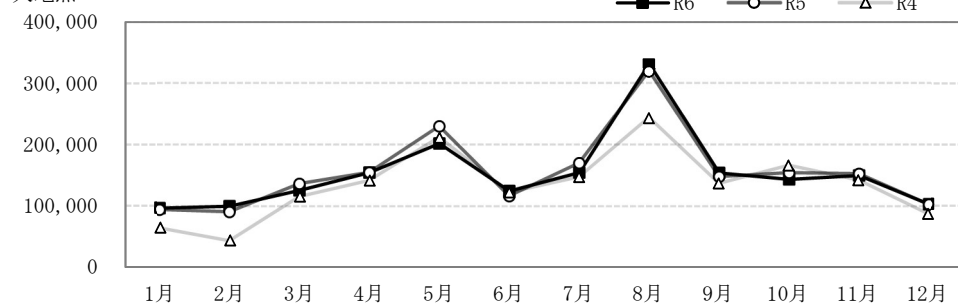
大田地域

人地点



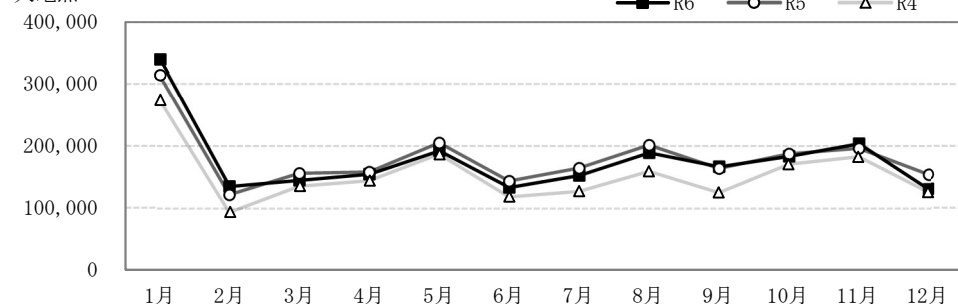
浜田地域

人地点



益田地域

人地点



隠岐地域

人地点

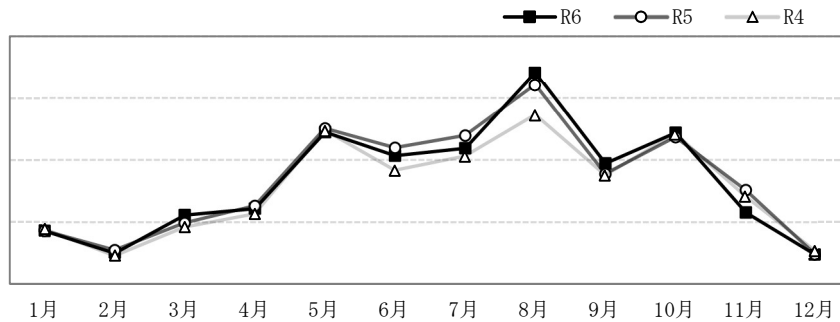
40,000

30,000

20,000

10,000

0



年	入込客延べ数
R6	198,181
R5	200,753
R4	185,786
年	増 減
R6 対 R5	-1.3%
R6 対 R4	+6.7%

全県

人地点

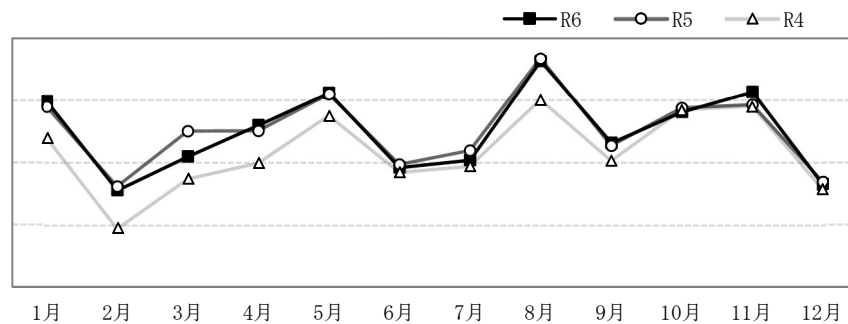
4,000,000

3,000,000

2,000,000

1,000,000

0

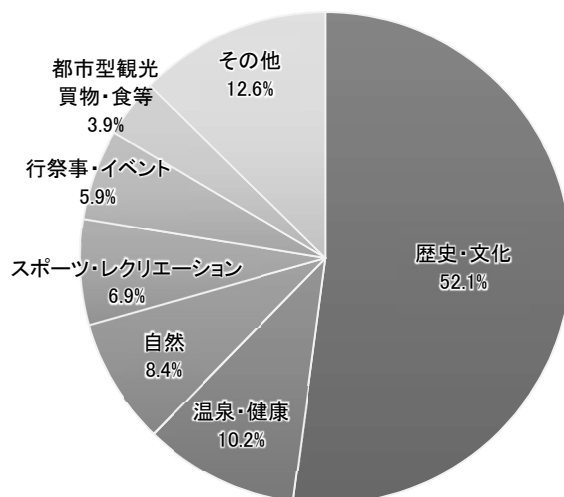


年	入込客延べ数
R6	29,860,237
R5	30,193,591
R4	25,950,467
年	増 減
R6 対 R5	-1.1%
R6 対 R4	+15.1%

(3) 行動目的別観光入込客延べ数

観光客の行動目的別（中分類）では「歴史・文化」が最も多く 52.1%、次いで「温泉・健康」10.2%、「自然」8.4%、「スポーツ・レクリエーション」6.9%であった。

〈行動目的別割合〉



〈行動目的別入込客延べ数、対前年増減〉

行動目的 (中分類)	入込客延べ数 (人地点)	対前年増減
歴史・文化	15,566,078	+0.7%
温泉・健康	3,036,199	+1.0%
自然	2,494,147	-6.6%
スポーツ・レクリエーション	2,068,222	-7.5%
行祭事・イベント	1,769,004	-5.5%
都市型観光 買物・食等	1,151,241	-0.7%
その他	3,775,346	-0.6%

〈行動目的別（小分類）観光入込客延べ数の上位5区分（その他除く）〉

行動目的 (中分類)	行動目的 (小分類)	入込客延べ数 (人地点)	対前年増減
歴史・文化	神社・仏閣	10,660,177	-1.4%
温泉・健康	温泉	3,036,199	+1.0%
歴史・文化	博物館	1,497,886	+11.4%
自然	海岸	1,404,181	-9.1%
歴史・文化	美術館	924,300	+4.6%

7. 観光客の動向（観光地点アンケートによる）

令和6年観光地点アンケート調査によって得られたデータをもとに、観光客の動向を分析した。

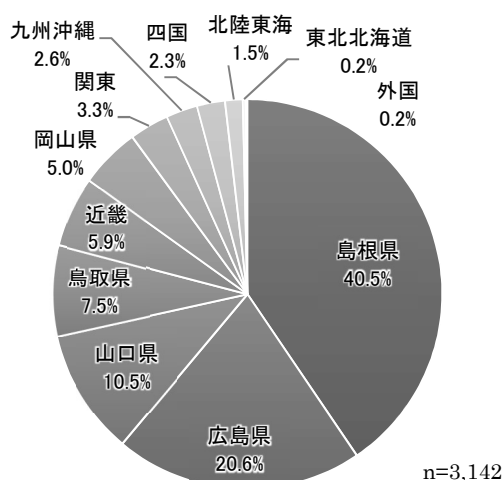
（1）発地（住所）

ア. 日帰り・宿泊別入込客割合

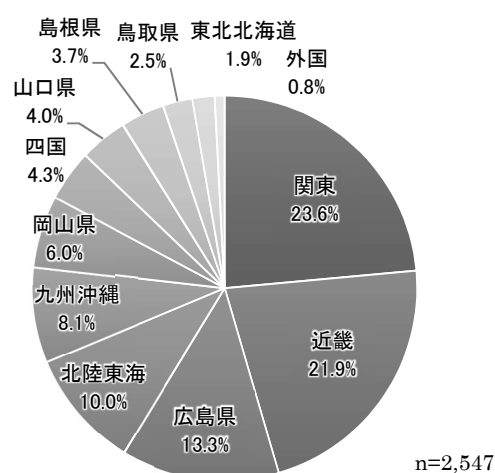
日帰りでは、島根県が最も多く40.5%、次いで広島県20.6%であった。島根県は前年から1.3ポイント増加した。

宿泊では、関東が最も多く23.6%、次いで近畿21.9%であった。構成比は、前年から中国が1.0ポイント減少し、九州沖縄が1.8ポイント増加した。

【日帰り】



【宿泊】

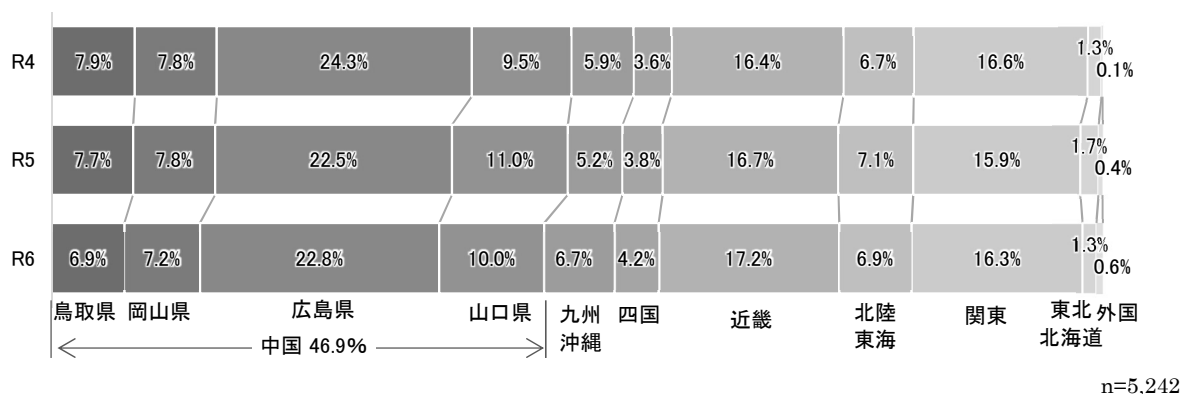


		東北 北海道	関東	北陸 東海	近畿	中国	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	四国	九州 沖縄	外国
日 帰 り	R5	0.2%	3.4%	1.5%	5.2%	85.3%	7.9%	39.2%	6.0%	20.8%	11.3%	2.1%	2.2%	0.2%
	R6	0.2%	3.3%	1.5%	5.9%	84.1%	7.5%	40.5%	5.0%	20.6%	10.5%	2.3%	2.6%	0.2%
	対前年増減	+0.0%	-0.1%	+0.0%	+0.7%	-1.2%	-0.4%	+1.3%	-1.0%	-0.3%	-0.9%	+0.2%	+0.4%	-0.0%
宿 泊	R5	2.7%	23.2%	10.5%	22.4%	30.4%	3.3%	4.1%	5.8%	12.5%	4.7%	4.0%	6.3%	0.5%
	R6	1.9%	23.6%	10.0%	21.9%	29.4%	2.5%	3.7%	6.0%	13.3%	4.0%	4.3%	8.1%	0.8%
	対前年増減	-0.9%	+0.4%	-0.5%	-0.5%	-1.0%	-0.9%	-0.4%	+0.2%	+0.8%	-0.7%	+0.3%	+1.8%	+0.3%

イ. 発地別県外入込客割合

県外客の発地別入込客割合は、広島県からが最も多く22.8%、次いで近畿17.2%、関東16.3%であった。

〈発地別県外入込客割合の推移〉

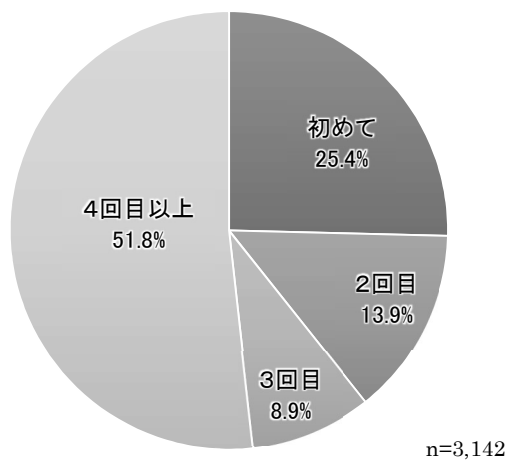


(2) 旅行回数

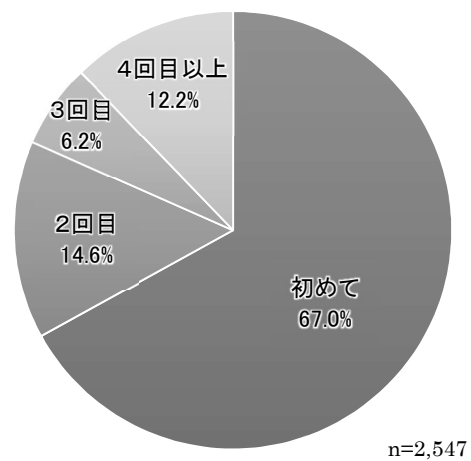
観光施設の訪問回数、島根県の観光回数どちらも、日帰りの場合は「4回目以上」が最も多く、宿泊の場合は「初めて」が最も多かった。

ア. 観光施設の訪問回数

【日帰り】



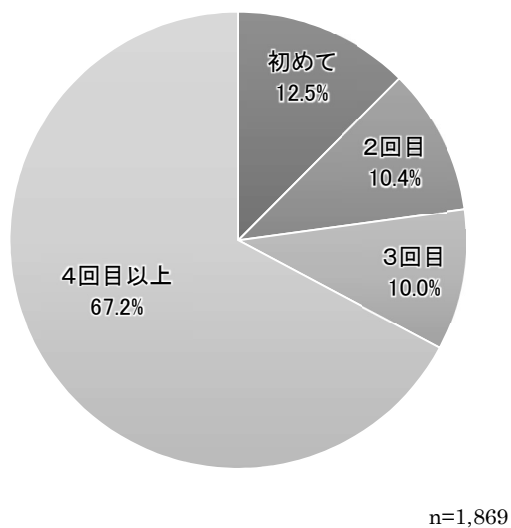
【宿泊】



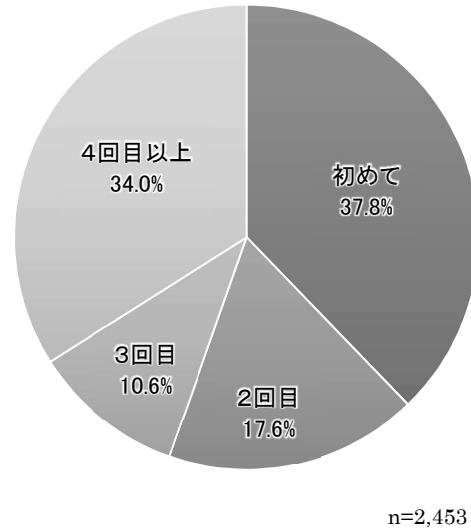
イ. 島根県の観光回数

※この項目は県外客を対象に「島根県の観光回数(島根県での観光が何回目か)」を質問した。

【日帰り】



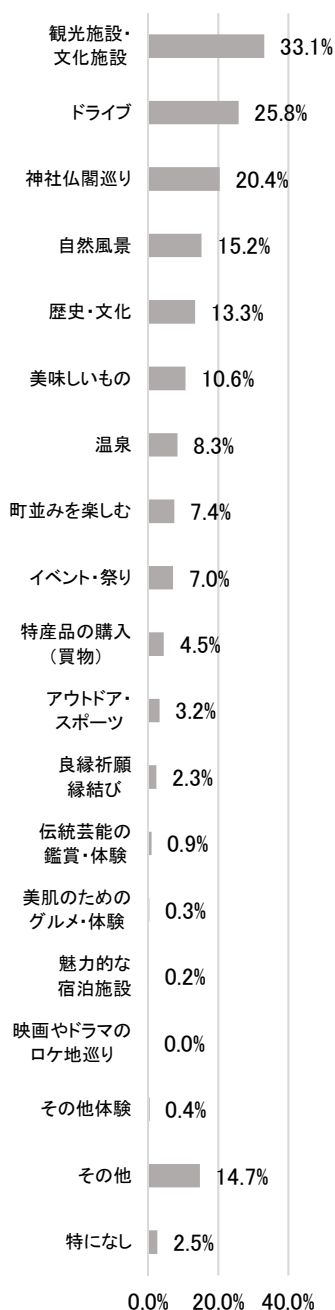
【宿泊】



(3) 観光理由

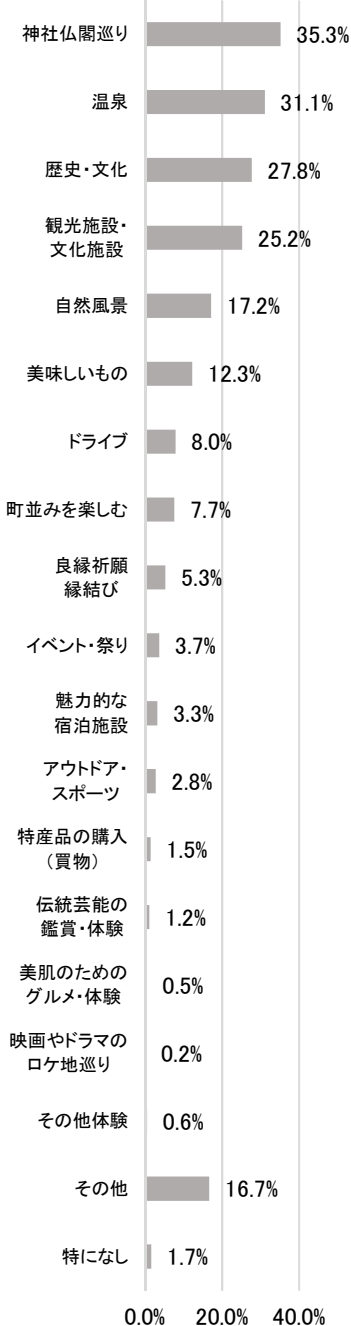
観光理由（今回島根県の観光に出かけた理由）は、全体と日帰りでは「観光施設・文化施設」の割合が最も多く約3割、宿泊の場合は「神社仏閣巡り」が最も多く、約4割を占めていた。

【日帰り】



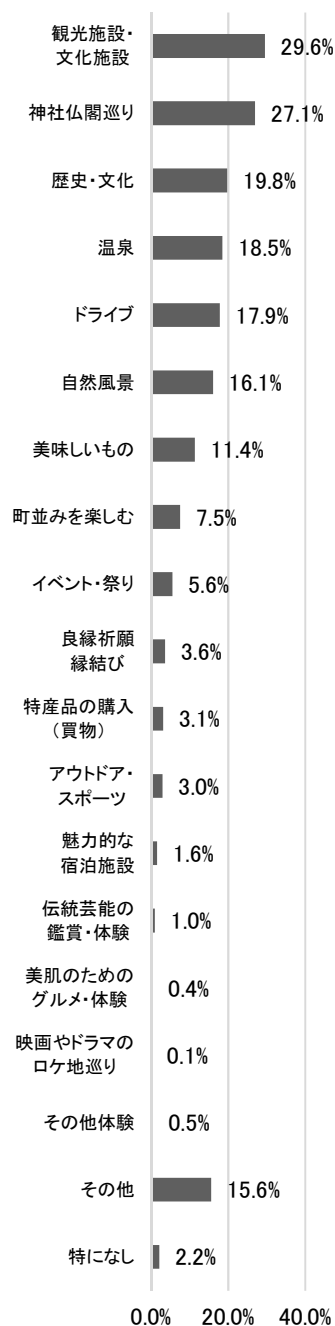
n=3,142

【宿泊】



n=2,547

【全体】



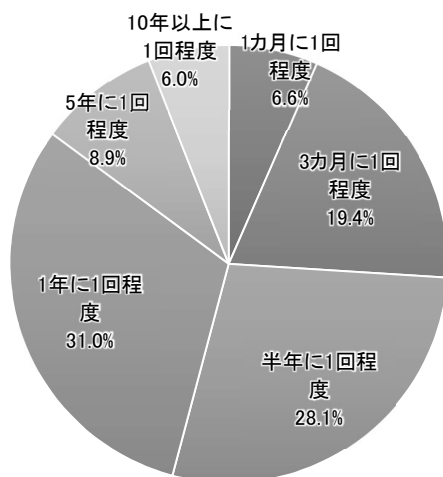
n=5,689

(4) 観光頻度

ア. 国内宿泊旅行の頻度

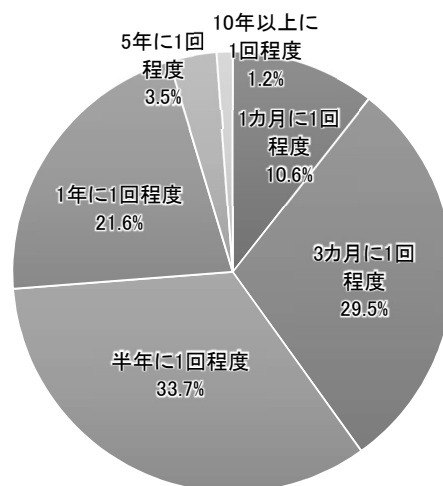
国内宿泊旅行の頻度は、日帰りでは「1年に1回程度」の割合が最も多く31.0%、宿泊では「半年に1回程度」の割合が最も多く33.7%であった。

【日帰り】



n=3,142

【宿泊】

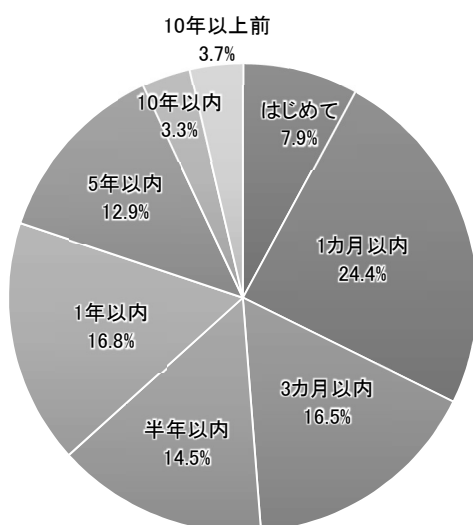


n=2,547

イ. 前回の島根県の観光

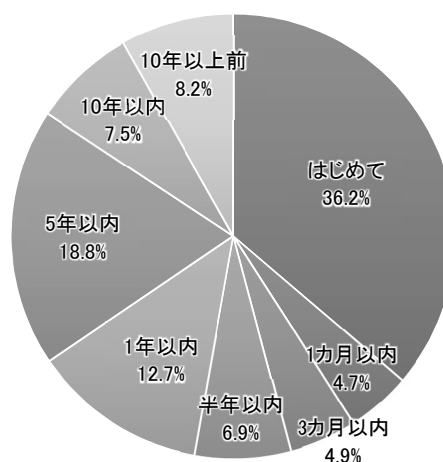
前回の島根県の観光は、日帰りでは「1カ月以内」の割合が最も多く24.4%、宿泊では「はじめて」の割合が最も多く36.2%であった。

【日帰り】



n=3,142

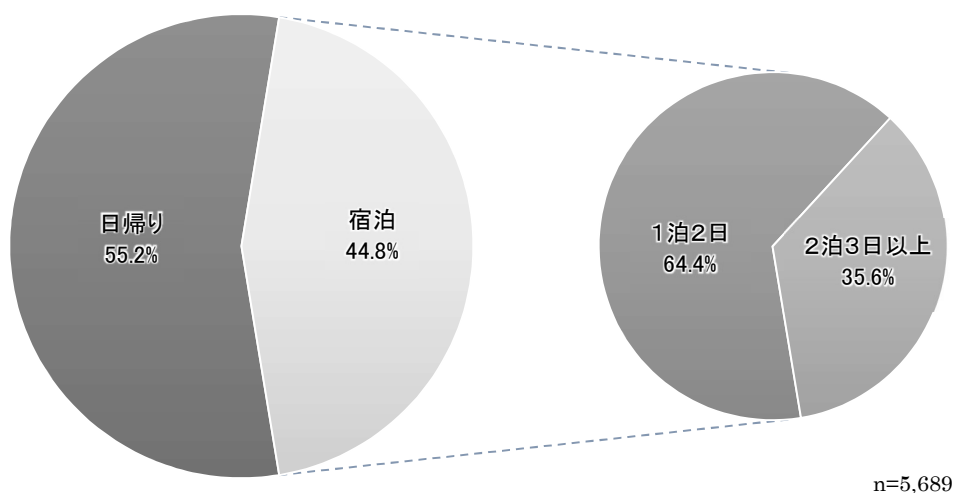
【宿泊】



n=2,547

(5) 旅行日程

「日帰り」が 55.2%、「宿泊」が 44.8%であり、「宿泊」のうち 64.4%が「1泊2日」であった。

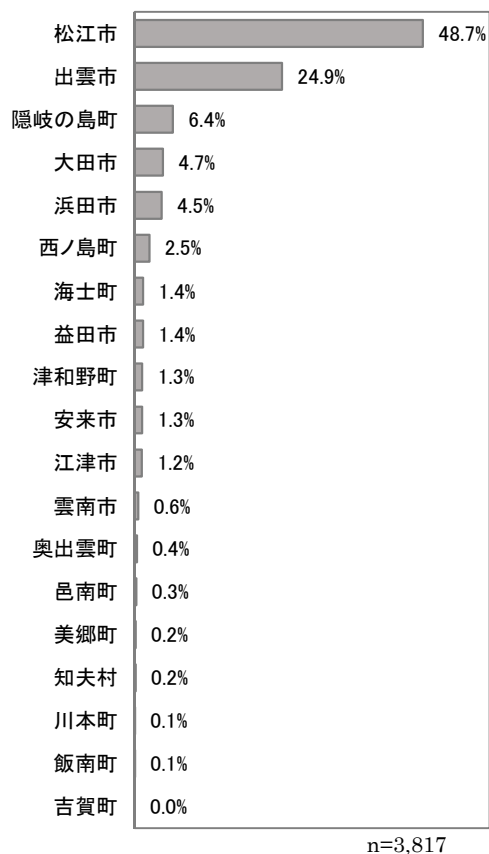


(6) 宿泊する市町村及び宿泊施設

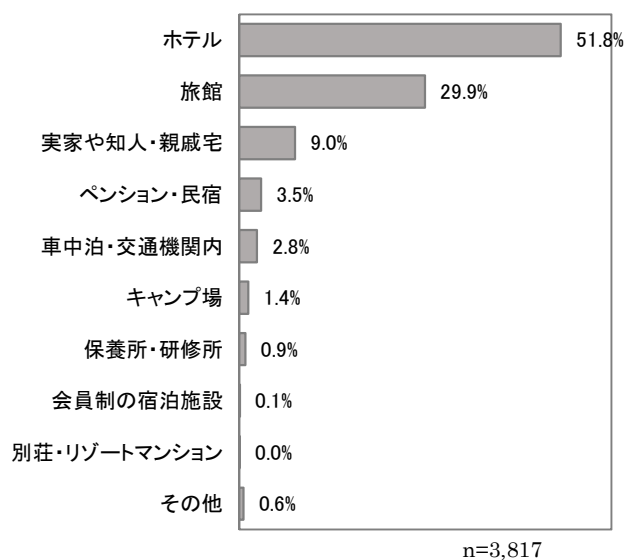
宿泊する市町村では「松江市」が 48.7%、次いで「出雲市」が 24.9%であり、全体の 7 割以上 (73.6%) を占めていた。

宿泊施設では「ホテル」が 51.8%、次いで「旅館」が 29.9%であり、全体の 8 割以上 (81.7%) を占めていた。

【市町村】

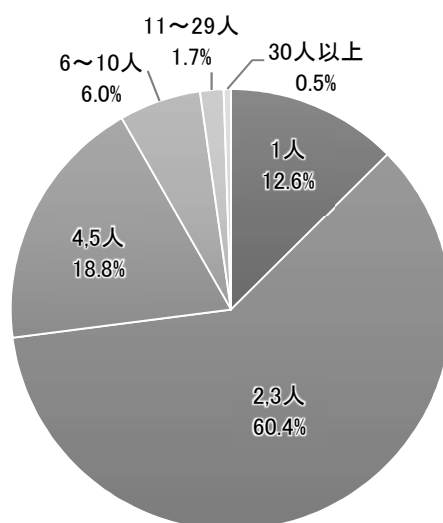


【宿泊施設】



(7) 同行人数

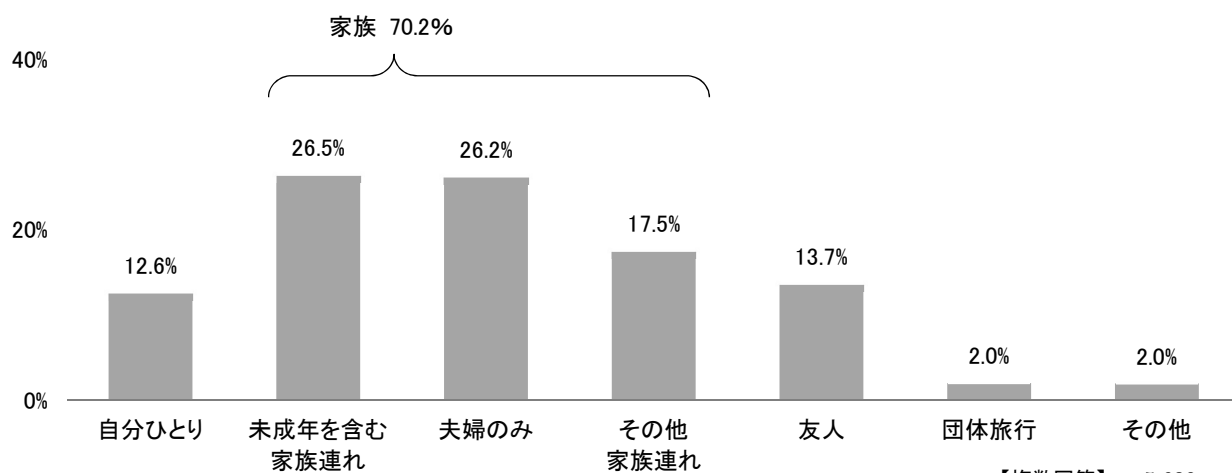
「2、3人」が最も多く 60.4%、次いで「4、5人」が 18.8%であった。



n=5,689

(8) メンバー構成

「家族」が最も多く 70.2%、次いで「友人」が 13.7%であった。



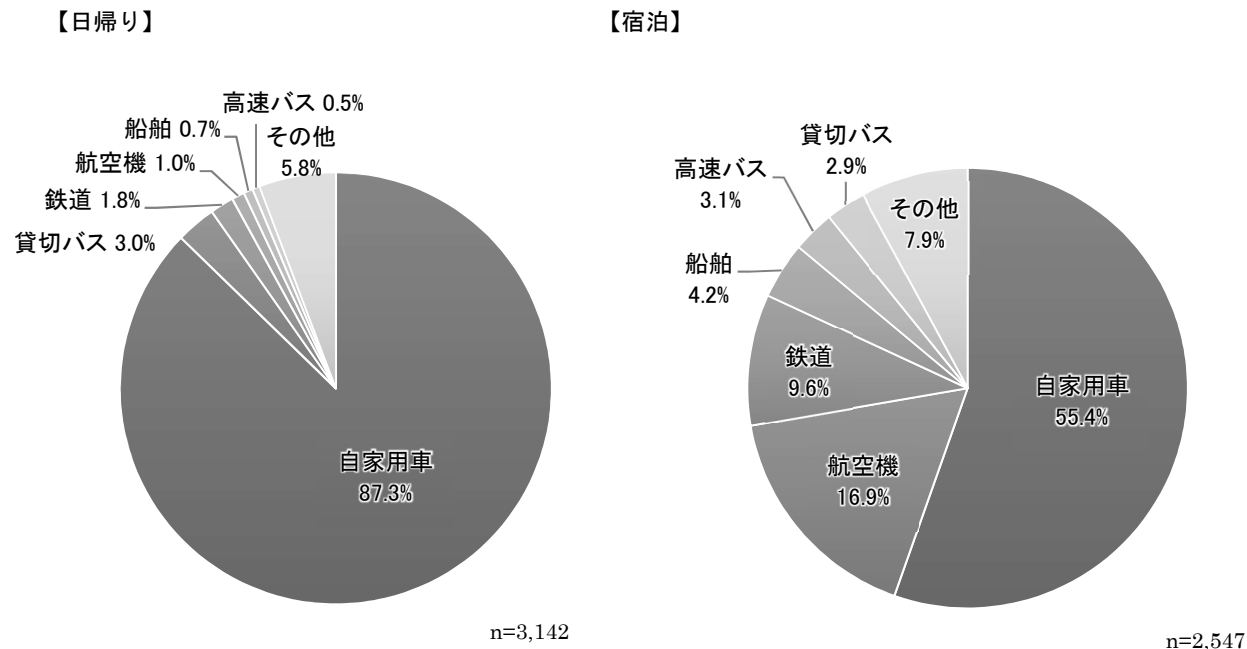
【複数回答】 n=5,689

(9) 利用交通機関

ア. 日帰り・宿泊別利用交通機関割合

日帰りでは、「自家用車」が最も多く 87.3%、次いで「貸切バス」が 3.0%であった。

宿泊では、「自家用車」が最も多く 55.4%、次いで「航空機」16.9%、「鉄道」9.6%であった。

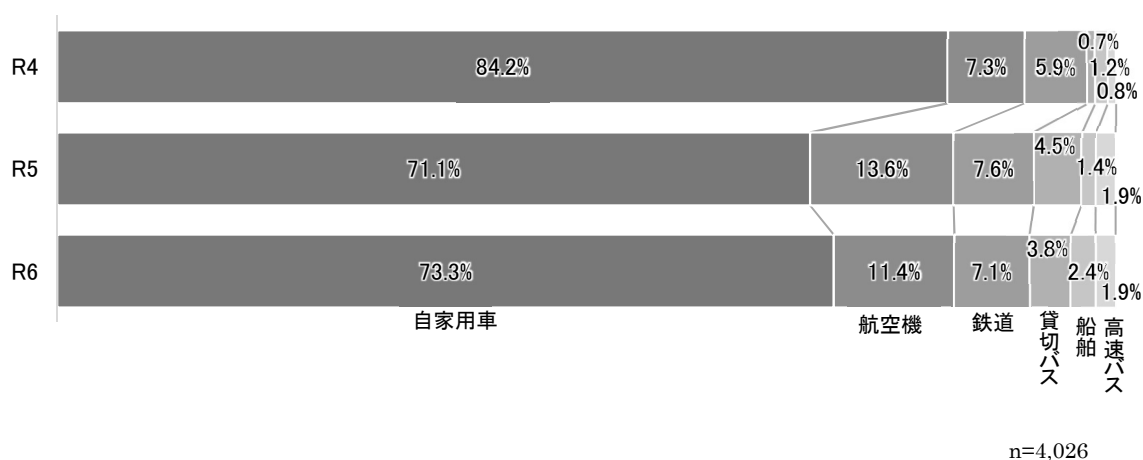


イ. 県外利用交通機関割合

県外客の利用交通機関をみると、「自家用車」が最も多く 73.3%、次いで「航空機」11.4%、「鉄道」7.1%であった。

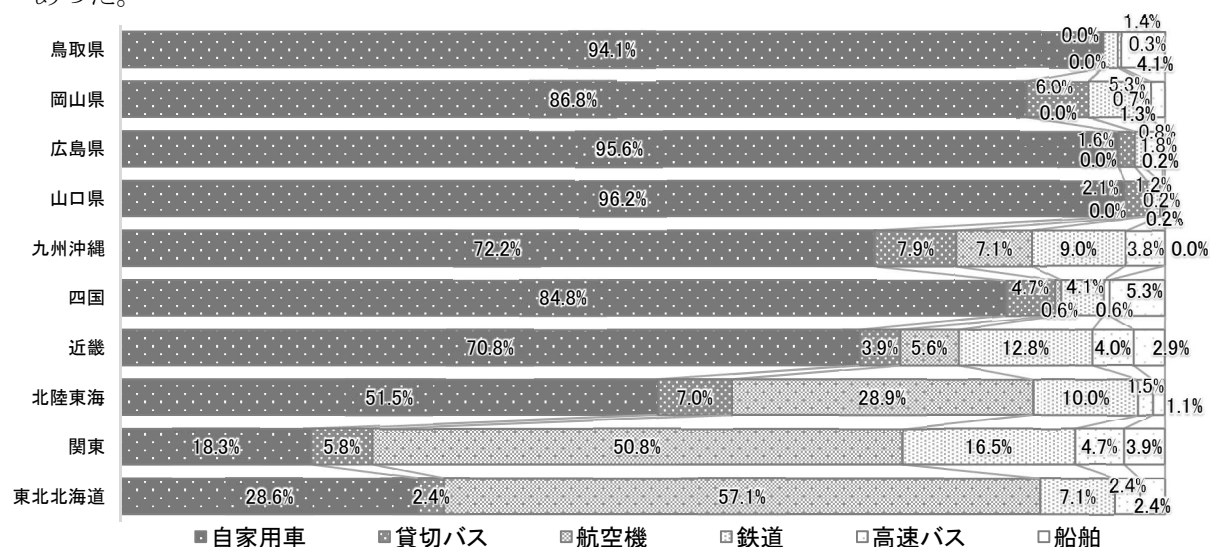
前年から「自家用車」の割合は 2.2 ポイント増加し、「航空機」の割合は 2.2 ポイント減少した。

〈県外利用交通機関割合の推移〉



ウ. 県外地域別利用交通機関割合

県外客について地域別に利用交通機関をみると、「自家用車」が中国では約9割、四国では8割以上を占めていた。「航空機」が最も高いのは東北北海道、「鉄道」が最も高いのは関東であった。

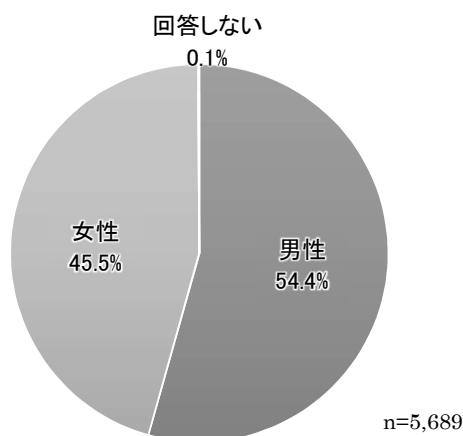


n=4,003

※外国は集計から除いた

(10) 性別

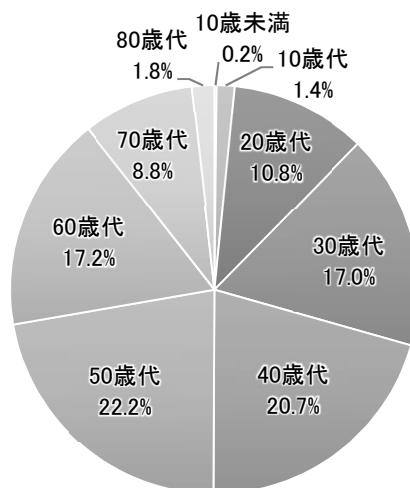
「男性」が54.4%、「女性」が45.5%であった。



n=5,689

(11) 年齢

「30歳代」から「60歳代」がそれぞれ約2割ずつを占めていた。

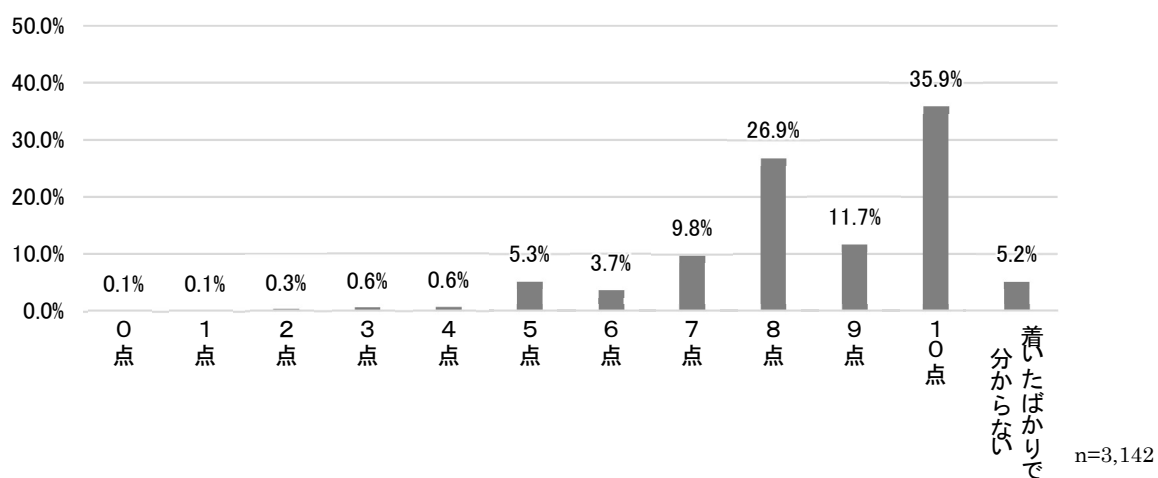


n=5,689

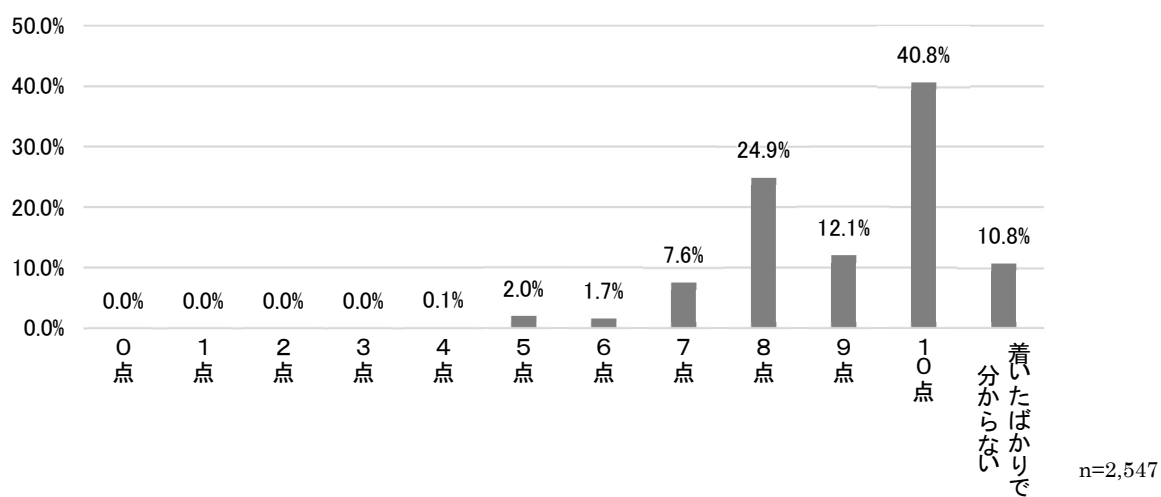
(12) 満足度

日帰り宿泊ともに、10点が最も多く、約4割を占めていた。

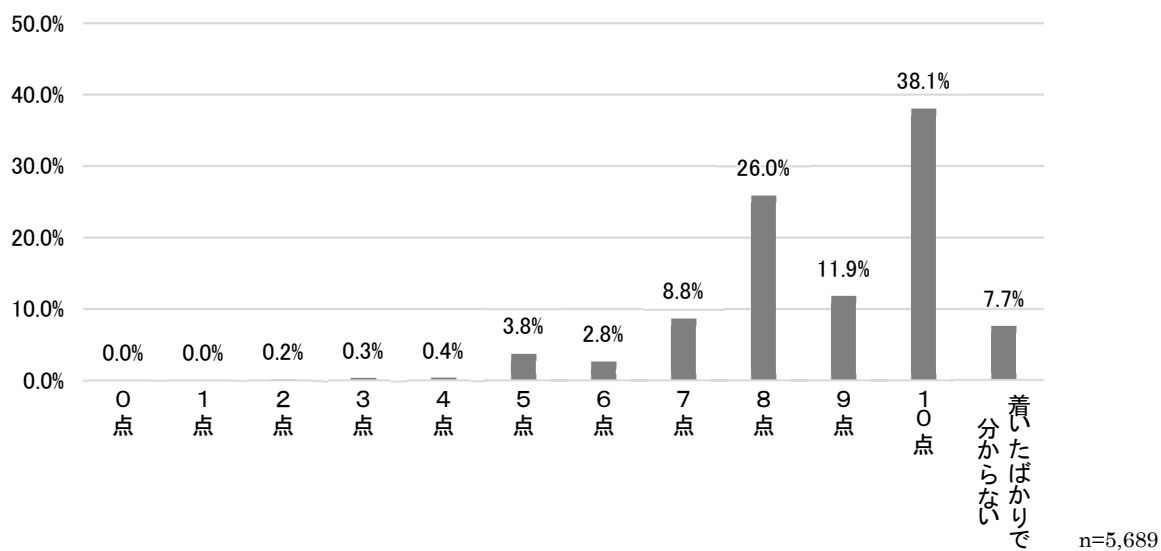
【日帰り】



【宿泊】



【全体】

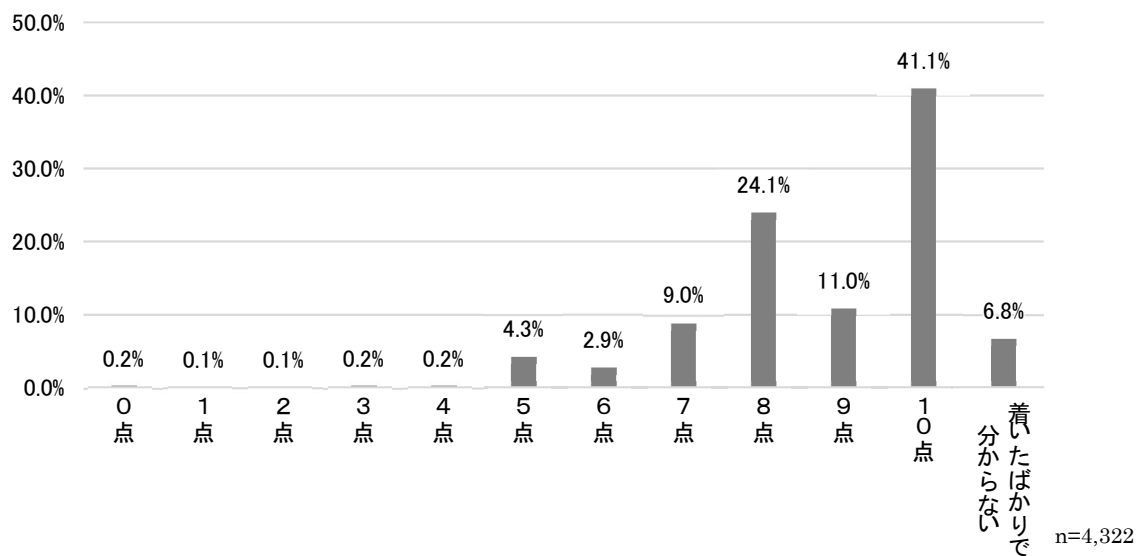


(13) 推奨意向

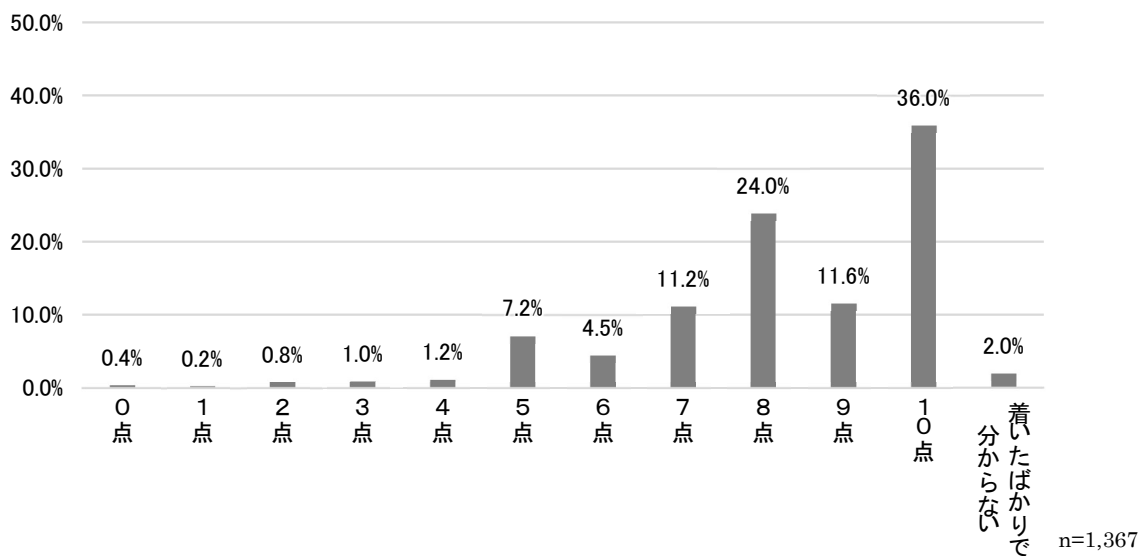
ア. 島根県での観光の推奨意向

県外客、県内客ともに「島根県での観光の推奨意向（親しい人に島根県での観光をおすすめしたいと思うか）」は、10点が最も多く、約4割を占めていた。

【島根県での観光の推奨意向～親しい人に島根県での観光をおすすめしたいと思うか～（県外客）】

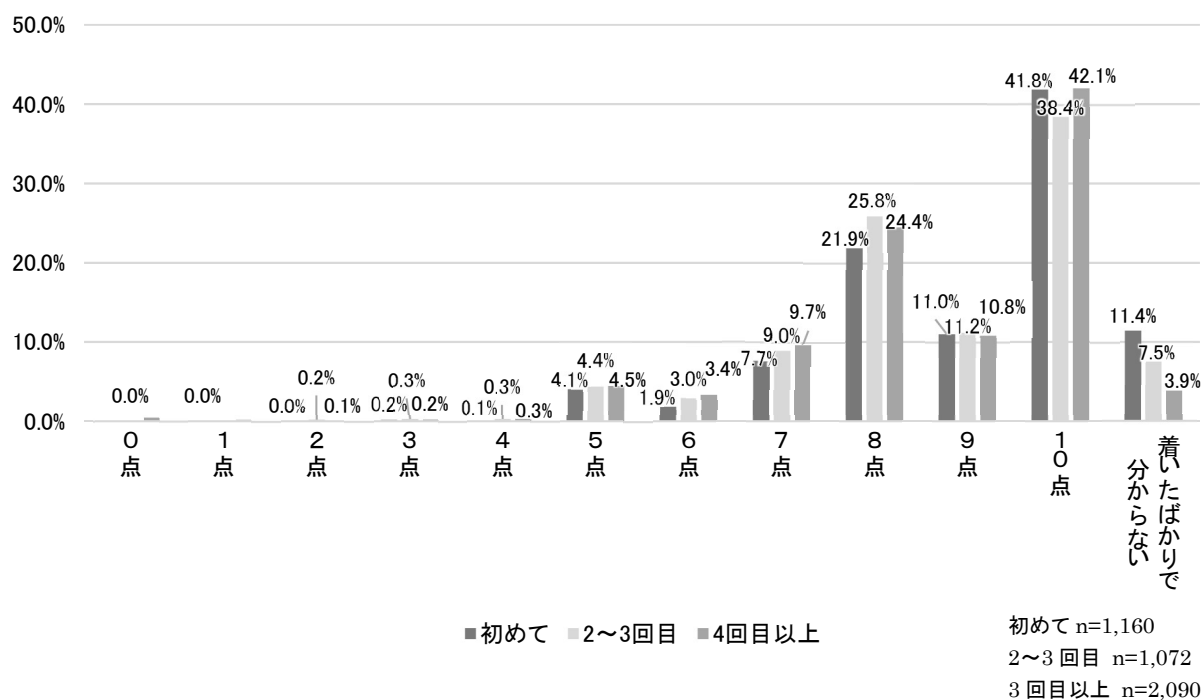


【島根県での観光の推奨意向～親しい人に島根県での観光をおすすめしたいと思うか～（県内客）】



イ. 島根県への訪問回数別推奨意向

県外客の「島根県での観光の推奨意向（親しい人に島根県での観光をおすすめしたいと思うか）」について訪問回数別にみると、初めて・4回目以上と比べて、2～3回目の評価が低くなる傾向がみられた。



ウ. 観光施設への訪問回数別推奨意向

県内客の「島根県での観光の推奨意向（親しい人に島根県での観光をおすすめしたいと思うか）」について訪問回数別にみると、県外客同様に、初めて・4回目以上と比べて、2～3回目の評価が低くなる傾向がみられた。

